

# 大阪損保革新懇ニュース

NO. 89  
2007.11.22

大阪損保革新懇事務局  
大阪市中央区道修町三の三の十  
大阪屋道修町ビル3F 〇六〔六三三二〕一〇九五

## 二〇〇七年講演シリーズ第四弾

十一月十五日(木)

### 「経済史から歴史を読み解く」

### 幕末の通貨戦争」

講師 兵庫東文学教授  
経済学部長 松浦昭さん

大阪損保革新懇では、二〇〇七年講演シリーズ第四弾として、兵庫県立大学経済学部教授・学部長の松浦昭さんを招いての講演会「経済史から歴史を読み解く 幕末の通貨戦争」を開催しました。「歴史にも論理的思考が必要」と、「考える歴史」を強調する松浦教授は、講演でもどんどん指名・質問します。最初こそ緊張した面持ちだった参加者も思わず引き込まれ、あっとい間の一時間でした。あとの懇親会でも質問が相次ぎ、笑いの絶えない楽しい講演会となりました。参加者からは、「こんな歴史の講義を学生時代に聞いていたら、もっと歴史が好きになっていたのに」、「先生にはまたこの続きを講演してほしい」との感想が寄せられました。

#### 講演要旨

#### どう歴史的事実に向き合うか考えよう

歴史には一〇〇%客観的なものはありません。一〇〇人の歴史家がいれば、一〇〇通りの見解があります。しかしそのことは、事実はどうでもよいということではありません。真実に向かってそれぞれの角度からアプローチするということです。みなさんも、「私ならどうこの歴史的事実に向き合うか」を考えてみてください。

(と松浦さんは切り出しました)

たとえば江戸時代をどう見るか。封建的で遅れた社会という認識が一般的です。しかしそれはすべて正しいのでしょうか。明治政府の立場で考えてみましょう。「こ維新で世の中は大きく変わった。生活もよくなった」―庶民にそう見えるようにしたいわけですね。そのためには二つの方法があります。明治をかさ上げするか。江戸を低めるかです。さあ考えてみましょう。

(とみんなに質問します)

#### 日本と諸外国の金・銀比率は

明治はいまそのときみんなが生活しているわけですから、庶民の生活実感は変えようがありません。したがって「過去の江戸というのはひどかった」と教科書などに記述されることになるのです。

(次いで、一両二四分十六朱と四進法であることなど、江戸時代の通貨制度についてふれたあと)

鎖国から開港となり貿易が始まります。するとただちに解決しなければならぬ問題が生じてきます。日本の金貨、銀貨とアメリカのドル金貨、銀貨をどのように交換するかです。ハリスとの間に結ばれた「日米修好通商条約」の貨幣条項には、「米國貨幣は



松浦昭さん 兵庫県立大学経済学部長 講演する

幕府の官僚は優秀で、当初、銀の切り下げを図ります。しかし購買力の低下を危惧した諸外国の猛反発で、金の切り上げに方針転換を余儀なくされます。一夜にして金貨の価値が三倍になったわけですから、生じたのは？超インフレです。このことも幕府崩壊の大きな要因となったのです。

日本貨幣と同種同量の原則をもって通用すべきこと」、「金銀貨・金銀地金の輸出は自由たるべきこと」などがもりこまれました。

ところが大変な問題がありました。日本と諸外国の金と銀の交換比率が大きく異なっていたのです。日本は金一対銀五、対して外国は金一対銀十五と、日本の金安・銀高でした。すると何が起こったでしょうか。

(「さあいっしょに考えましょう」と松浦さん)

#### 幕府崩壊の大きな要因に

外国の商人や政府公使、領事たちは大量にドル銀貨を持ち込み、それを「同種・同量」で日本の銀貨と交換、さらにその銀貨(一分銀)で日本金貨(小判)を買い漁って、国外に「輸出」し大儲けします。こうして大量の金が流出したのです。幕府は対策に苦慮します。ここでも二つの解決方法があります。

(考えてみましょう)

金の切り上げか、銀の切り下げかどちらかです。

十一月十七、十八 全国革新懇主催(金沢)

「地域・職場・青年革新懇交流集会」が開催!

いまこそ革新懇の出番だ

### 革新三目標が輝くとぎ

全国革新懇主催「地域・職場・青年革新懇交流集会」が十一月十七、十八日、金沢市で開催されました。大阪損保革新懇から野村代表・野口事務局長・大川・磯辺事務局担当の四名が参加しました。会場の金沢市文化ホールは過去最多の一五二名で、これまでになく多くの青年の参加が特徴でした。この集会において(四名)・香川(二名)・新潟(二名)の損保革新懇から参加があり、石川損保革新懇の仲間はこの集会の事務局として大いに奮闘しました。第一日は志位代表世話人(日本共産党委員長)が「新しい政治のプロセスと革新懇運動」のテーマで講演しました。志位氏は「参院選挙の結果、国民が自公政治に代わる新しい政治の中身と方向を求める新しい政治のプロセスが始まった」として参院選から三ヶ月半の間の政治・経済情勢の特徴を指摘。国民の利益にたった政治をまじめに実現しようとするほど全国革新懇の掲げる革新三目標①国民生活の向上②憲法・平和・民主主義を守る③真の独立を実現するに接近せざるを得ないとして「革新懇運動の値打ちがいよいよ輝いてきた。いま革新懇の出番だ」と締めくくりました。

### 全国から五損保革新懇の仲間と交流

夜はこの集会に参加した全国五つの損保革新懇の仲間二〇名全員で交流集会。地元の佳肴を味わいつつ日頃の活動を話し合いともに健闘を誓いました。

「しんぶん赤旗」十月二〇日付掲載



職場の運動などを交流した職場革新懇の分散会=18日、金沢市



詩人・エッセイスト アーサー・ピナードさん 「もったいない話〜ふところ具合と憲法」



マリンパサンザン テトラ 森田あやさん、小川悠史さん、西川夏代さん 「剣の舞(ハチヤトウリアン)」他

12/10(月)

エルおおさか大ホール(府立労働センター) 午後6時開場、6時半開会 参加協力費 1,000円(学生、障害者は無料)

主催 大阪府労働組合(大阪府労働組合) 共催 大阪府労働組合(大阪府労働組合) TEL:06-6567-8302 FAX:06-6567-8410 EX:06-6567-8410

### 感想

#### 全国交流集会に参加して

大阪革新懇からは二七名でマイクロバスで往復。初日は快晴の名阪・北陸道を快走しました。交流集会はこれまで最高の一五二名の参加者。地域・職場革新懇が全国で七六四と着実に増えている。志位委員長の講演はわかりやすく、ここそ革新懇の出番と必要性を強く感じました。金沢の仲間が歓迎していたいただいた損保交流会は二〇名の参加で料理もおいしいなごやかで元気が湧く交流会でした。会議終了後は、観光をあきらめ、初みぞれ交じりの雨の加賀・敦賀を走り抜け帰阪。カンパをいただいた多くの仲間にご挨拶申し上げます。

磯辺勝年

### 新しい日本を

頒価一冊 五〇〇円 申し込みは事務局まで



- 市原悦子・福川淳二・小川洋子・木村政雄
- 品川正治・高橋和也・宝田 明・寺島実郎・納谷幸
- 林 京子・林家いっ平・張本 勲・半藤一利・ピー
- 星野知子・室井佑月・山崎洋子・山中 恒

全国革新懇 since 1981